

# 日本 RNA 学会会報

No.22 (2010 年 5 月)

## 目 次

会長挨拶 .....	1
日本 RNA 学会 第 6 期評議員選挙結果について .....	2
日本 RNA 学会 第 6 期評議員会議事録 .....	3
第 12 回日本 RNA 学会年会のご案内 .....	4
日本 RNA 学会 第 12 回総会のご案内 .....	8
日本 RNA 学会 第 6 期役員 .....	8
2011 年 RNA Society Meeting について .....	9

日 本 R N A 学 会  
(THE RNA SOCIETY OF JAPAN)  
[wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/](http://wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/)

# 会長挨拶

第6期会長 塩見 春彦

近年、RNAを取り巻く情勢は大きく変化しています。

私たちのゲノムはほぼ全域にわたって転写され、それら転写産物が様々なプロセッシングを受け、多種多様なRNAが作り出されています。これらが相互に連携して働くことで、全体として極めて複雑な、しかし、常に一定の発生過程を辿る生命体を作り上げていると考えられるようになってきました。このように複雑さや多様性を生み出し、しかも一方で、ゲノムの変異や外的擾乱に対して発生過程を一定に保つ強さを支えるメカニズムとはどのようなものなのでしょうか？この問いに答えていくこと、つまり、生命活動を支えるRNAプログラムの理解をしていくためには、mRNA情報発現系の分子機構の理解を推し進め、並行して、その基本的な分子経路を修飾し、複雑な表現型の発現を可能にしていると期待を込めて宣伝されているnon-coding RNAの機能解析を進めていく必要があります。

この学会は、我が国におけるRNA研究の更なる発展と、若手研究者の育成を目的として、設立されました。私は、多くの方々が若手研究者や大学院生でも気楽に討論に参加出来る自由闊達な雰囲気を持つ生き生きした学会にしたいという強い思いを持ってこの学会に参加されてきたと理解しています。これからも若手の研究者が、この学会を足掛かりにして、大きく飛躍して行って欲しいと願っています。しかし、この学会は「若手の会」ではありません。若い研究者の手をとって引っ張り上げていくのは中堅です。中堅の実力が試されます。中堅こそが、熱く燃えて、飛躍しなければなりません。このためには、たとえば、元気の無いメンバーを鼓舞し、叱咤しあい、互いの尻を叩き合って前に進めていく厳しさや研究を生活の中心に据え、志を高く持ち、より質の高い研究を目指すストイックさが求められます。また、研究の目的に主眼を置き、それを達成するためには、しばしば、まったく新しい技術や解析手段を開発あるいは導入しなければなりません。若い人達が新技術の開発や導入を怖がらないように中堅が範を示すことも重要です。

批判し合い、対話を重ねる機会が増えることを期待します。この期待は、対話をすれば分かりあえる、という期待ではありません。異なる意見の持ち主に同調化や同質化への圧力をかけることでもありません。むしろ、対話によって、困難な対立点や問題点の所在を明確にすることで、自分自身の研究の目的を明確にすること、そしてその目的達成のためになにをしなければならぬかを明確にすることへの期待です。このような対話の積み重ねが、骨太の優れた研究成果へと実を結ぶことを期待します。私はこのような批判や対話を生み出す場を作ることに少しでも役立つことが出来ればと思っております。

## 日本RNA学会 第6期評議員選挙結果について

選挙公示 : 会報21号  
投票締切日 : 2010年3月20日  
開票日 : 2010年3月29日  
開票場所 : 名古屋大学 理学部B号館B-217号室

有権者数 : 565名  
投票総数 : 80通  
投票総数 : 767名  
有効投票数 : 765通  
無効(開票後) : 2通

得票上位10名、および次点は下記の通りとなりました(敬称略、50音順)。

稲田 利文、内海 利男、塩見 春彦、塩見 美喜子、鈴木 勉、  
谷 時雄、泊 幸秀、中村 義一、廣瀬 哲郎、吉久 徹

次点 坂本 博

皆様ご協力いただき、誠に有り難うございました。

選挙管理委員会

稲田 利文  
佐藤 豊  
吉久 徹

## 日本RNA学会 第6期評議員会議議事録

日時 : 2010年4月7日(水) 16:00 ~ 17:20  
場所 : 東京大学 医科学研究所白金ホール会議室  
出席者 : 稲田利文、塩見春彦、塩見美喜子、鈴木 勉、谷 時雄、泊 幸秀、  
中村義一(兼第5期会長)、廣瀬哲郎、吉久 徹(兼第5期庶務幹事、選挙管理  
委員長)  
欠席者 : 内海利男

1. 中村義一会長が開会挨拶を行った。
2. 第6期評議員選挙結果について、吉久徹第5期庶務幹事・選挙管理委員長より報告があった(p. 2、「評議員選挙結果について」参照)。
3. 第6期会長の選出  
第6期の会長を選出するため、学会細則第8条に従い、評議員による会長選挙を行った。第1回目の投票で塩見春彦氏が過半数の票を獲得し、日本RNA学会第6期会長に就任することが決定した。
4. 第6期副議長の選出  
同じく、学会細則第11条に従って副議長の選出を行い、鈴木勉氏が副議長に就任することが決定した。
5. 第6期庶務・会計・編集幹事候補の検討、および、会計監査の選任  
塩見会長より、庶務幹事を東京医科歯科大・片岡直行氏、会計幹事を千葉工業大・坂本泰一氏(留任)、編集幹事を理化学研究所・中村輝氏にそれぞれ委嘱することが提案され、承認された。また、会計監査2名は、鈴鹿医療科学大・饗場弘二氏、神戸大・坂本博氏に委嘱することが決定した。
6. 国際RNA学会RNA2011の日本開催に対する対応  
中村義一第16回RNA Society国際会議日本組織委員長より、現在までの第16回RNA Society国際会議(2011年6月14~18日)の準備状況が報告された。日本コンベンションサービス(株)に業務を委託すること、必要な経費を得るため、各種の寄付・助成金を募る必要性が報告された。新評議員である泊幸秀、内海利男両氏が新たに日本組織委員会への参加を招請され、受諾された。(なお、日本組織委員会構成員13名中8名の本評議員会への出席をもってこれを日本組織委員会承認とする。)
7. その他  
その他の議題として、新体制のもと、日本RNA学会として必要があれば適切な法人格を取得する方向で検討することが申し合わされた。

(第5期庶務幹事 : 吉久 徹)

## 第12回日本RNA学会年会のご案内

第12回日本RNA学会年会 (RNA2010 Tokyo, 12th RNA meeting) は、7月27日 (火) から29日 (木) まで、一橋記念講堂 (東京都千代田区) にて開催致します。

今回のキャッチフレーズは「No RNA, No Life.」としました。文字通り、生命活動の根幹を担うRNAと、皆様のRNA研究に対する熱い思いを表現してみました。

初日に「拡大するRNA研究」と題したシンポジウムを企画し、世界的に活躍される4名の先生方にご講演をいただきます。また、余裕のある会場で交流会を兼ねたポスターセッションの開催や、ポスター賞の企画など趣向を凝らした年会にしたいと世話人一同はりきって準備を進めております。

演題登録時において、今年は例年のような分野ごとのカテゴリー分けはしておりません。RNAにまつわるあらゆる研究が発表の対象となります。多数の演題登録、参加登録をお願い申し上げます。

来年、京都で開催されるRNA societyの国際会議 (RNA2011) に向けて、弾みをつける上でも今回の年会は実り多きものにしたいと願っております。どうかお誘いの上、ふるってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

会 期：2010年7月27日 (火)～7月29日 (木) 3日間

会 場：一橋記念講堂 (東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)

主 催：日本RNA学会

発表申込締切日：2010年5月21日 (金)

【参加登録及び懇親会の事前支払い期日：2010年6月25日 (金)】

### スケジュール (予定)

※セッションの開始、終了時間はプログラム決定に伴い多少前後します。予めご了承下さい。

7月27日 (火)	8:30～	参加登録受付
		ポスター貼付セットアップ/企業展示準備
	9:20～ 9:25	開会挨拶
	9:25～ 12:30	口頭発表
	12:30～ 13:30	昼食
	13:30～ 15:00	ポスターセッション
	15:00～ 18:00	シンポジウム『拡大するRNA研究』
	18:00～	ポスター&ビア
7月28日 (水)	8:30～	参加登録受付
	9:00～ 12:00	口頭発表

	12:00～ 13:00	昼食
	13:00～ 14:30	ポスターセッション
	14:30～ 17:00	口頭発表
	17:00～ 18:00	日本RNA学会総会
	18:30～ 20:30	懇親会<如水会館>
7月29日 (木)	8:30～	参加登録受付
	9:00～ 12:00	口頭発表
	12:00～ 13:00	昼食
	13:00～ 16:00	口頭発表
	16:00～ 16:05	閉会挨拶

### 演 題

・口頭発表 (50演題程度を予定)

・ポスター発表 (7月27日、28日の2日間)

口頭発表希望が多数の場合は、プログラム委員会で審査を行った結果、ポスター発表にさせて頂く場合もございます。またポスター発表ご希望の場合も、特にプログラム委員の推薦があったものについては、口頭発表をお願いする場合があります。予めご了承下さい。

・ベストポスター賞について

ポスター発表の中から特に優れた発表、数件にベストポスター賞を授与します。

### 参加および発表申込

発表者として応募できるのは、2010年度日本RNA学会年会費既納の本学会員に限られます。代表発表者になれる発表は1人1題までとします。他の発表の連名者になることは差し支えありません。新規入会申込および年会費支払いに関するお問合せは、(株)クバプロ内日本RNA学会事務局までお問合せ下さい。

【発表申込締切日：2010年5月21日 (金) 〆切】

【参加登録及び懇親会の事前支払い期日：2010年6月25日 (金)】

### 【日本RNA学会への入会方法】

年会費および入会金

入会費：1,000円

年会費：一般会員年額 7,500円

学生会員年額 2,000円

賛助会員年額一口 30,000円 (入会金は不要)

日本RNA学会へ新規入会をご希望の方は、下記ウェブアドレスよりお申し込みください。後日、日本RNA学会事務局より会費振込用紙が届きます。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/annai/nyukai.html>

[入会申込に関する連絡先]

日本RNA学会事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F

(株)クバプロ内 担当：齋藤

E-mail：rnaj@kuba.jp 電話：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

## 参加費

当日、受付での混乱を避けるため、事前支払いへのご協力をお願いいたします。

事前支払いの参加費は以下の通りです。

	会員	非会員
一般	12,000円	17,000円
学生	4,000円	6,000円

※ 振込先は参加登録完了のお知らせメールに記載があります。

※ 事前支払いの期限は6月25日(金)までとさせていただきます。

※ 当日支払いの場合は上記参加費に2,000円加算されます。

※ 年会発表者として演題の応募ができるのは、2010年度日本RNA学会年会費既納の本学会員に限られております。参加のみの場合はこの限りではありません。

## プログラム委員兼、ポスター賞審査委員(50音順)

浅井 潔(東京大学)

杉浦麗子(近畿大学)

井川善也(九州大学)

清尾康志(東京工業大学)

伊藤耕一(東京大学)

泊 幸秀(東京大学)

稲田利文(名古屋大学)

富田耕造(産業技術総合研究所)

井上邦夫(神戸大学)

中川真一(理化学研究所)

今高寛晃(兵庫県立大学)

中村 輝(理化学研究所)

入江賢児(筑波大学)

中山潤一(理化学研究所)

尾之内均(北海道大学)

濡木 理(東京大学)

影山裕二(基礎生物学研究所)

廣瀬哲郎(産業技術総合研究所)

河合剛太(千葉工業大学)

藤原俊伸(神戸大学)

黒柳秀人(東京医科歯科大学)

星野真一(名古屋市立大学)

剣持直哉(宮崎大学)

宮川さとみ(大阪大学)

齋藤博英(京都大学)

山下暁朗(横浜市立大学)

塩見美喜子(慶応大学)

吉久 徹(名古屋大学)

## 要旨集の公開日について

特許出願等の関係から、年会要旨集の公開日に関するお問い合わせを頂きますが、要旨集は年会初日の7月27日から配布、公開となりますのでご留意下さい。なお、日本RNA学会は、2005年7月22日付で、特許庁が指定する学術団体に認定されております。これにより特許法第30条「新規性喪失の例外」が適用されますので、年会での発表後、6ヶ月以内であれば出願可能となります。

## 懇親会について

日 時：7月28日(水) 18:30～20:30

会 場：如水会館 スターホール(2F)

会 費：一般 6,000円 学生 3,000円

## 昼食会場および弁当販売について

学術総合センター内外には食堂、喫茶店もございますが、年会開催期間の3日間、昼食向けのお弁当(1,000円)を販売致します。お申し込みは、参加登録画面で受け付けております。お支払いは参加費と一緒に振込みください。

## 宿泊予約について

本年度は旅行会社等による宿泊施設のご案内は行っておりません。

ホームページにて会場近隣の宿泊施設をご紹介します。

## その他

第12回日本RNA学会年会のホームページアドレスは次の通りです。

会議内容の詳細はホームページ上にて随時更新してご案内させていただきます。

年会専用ホームページ：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/RNA2010/index.html>

## 【事務局担当者】

世話人(年会長)：鈴木 勉(東京大学大学院工学系研究科・教授)

運営委員：鈴木 健夫(東京大学大学院工学系研究科・助教)

長尾翌手可(東京大学大学院工学系研究科・助教)

坂口裕理子(東京大学大学院工学系研究科・特任研究員)

鈴木 知子(東京大学大学院工学系研究科・事務補佐員)

## 【連絡先】 第12回日本RNA学会年会事務局

〒113-8656 文京区本郷7-3-1 工学部5号館鈴木研究室気付

年会長 鈴木 勉

年会専用メールアドレス：RNA2010@chembio.t.u-tokyo.ac.jp

## 日本RNA学会 第12回総会のご案内

第12回RNAミーティングの第2日目に、日本RNA学会第12回総会を下記の要領にて開催致しますので、多くの会員のご出席をお願い致します。

(会長 塩見 春彦)

### 記

日 時：平成22年7月28日(水) 午後5時00分～6時00分

場 所：一橋記念講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)

ご欠席の会員は、この会報に添付されている委任状をご送付ください。締め切りは、7月20日(火)です。

## 日本RNA学会 第6期役員(平成22年4月～平成24年3月)

会 長 塩見春彦

評議員 稲田 利文<sup>○</sup>、内海利男、塩見春彦、塩見美喜子<sup>○</sup>、鈴木 勉<sup>○</sup>(副議長)、  
谷 時雄<sup>○</sup>、泊 幸秀、中村義一<sup>○</sup>、廣瀬哲郎<sup>○</sup>、吉久 徹  
(<sup>○</sup>印は第5期より連続して評議員に就任された方々です。)

庶務幹事 片岡直行

会計幹事 坂本泰一

編集幹事 中村 輝

集会幹事 鈴木 勉

会計監査 饗場弘二、坂本 博

## 2011年RNA Society Meetingについて

中村 義一

私の会長任期も、この3月で2期4年を終了し、塩見(春)さんにバトンタッチしました。在任中のご協力に対して、あらためてお礼を申し上げます。

2011年6月に開催予定の第16回RNA Society Meeting(京都)については、引き続きOrganizersの一人として会議の準備を担当します。本会は、日本RNA学会との共催で、第13回日本RNA学会年会(RNAミーティング)をかねた形式で実施する予定です。昨年11月にはRNA Society Boardメンバー4人が京都国際会議場をsite visitし、これまでとは違った、新たな会議スタイルの成功に自信と期待をもったようです。以下に4月7日の今期日本RNA学会評議委員会において確認した開催要領と準備状況をご報告します。皆様とともに、アジアで初となる、RNA Society Meetingを成功させたいと思います。今後とも、よろしくご協力をお願い致します。

### 第16回RNA Society Meeting

期 日：2011年6月14日(火)～18日(土)

場 所：国立京都国際会館

日 程：

6月14日	[午後] 参加受付開始、開会式 [夜] 特別講演、ウェルカムレセプション
6月15日	[午前] プレナリーセッション [午後] パラレルセッション [夜] ポスターセッション
6月16日	[午前] プレナリーセッション [午後] パラレルセッション [夜] ポスターセッション
6月17日	[午前] プレナリーセッション [午後] パラレルセッション [夜] ポスターセッション
6月18日	[午前] プレナリーセッション [午後] パラレルセッション [夜] バンケット
6月19日	[午前] 散会

組織委員会：

[委員長] 中村 義一 (東京大学医科学研究所)

[副委員長] 塩見 春彦 (慶應義塾大学医学部)

- [財務担当委員] 松藤 千弥 (東京慈恵会医科大学医学部)  
 [庶務担当委員] 稲田 利文 (名古屋大学理学研究科)  
 [募金担当委員] 塩見美喜子 (慶應義塾大学医学部)  
 吉久 徹 (名古屋大学物質理学国際研究センター)  
 [広報担当委員] 廣瀬 哲郎 ((独)産業技術総合研究所)  
 [委員] 饗場 弘二 (鈴鹿医療科学大学薬学部)  
 井上 邦夫 (神戸大学大学院理学研究科)  
 大野 睦人 (京都大学ウイルス研究所)  
 坂本 博 (神戸大学大学院理学研究科)  
 鈴木 勉 (東京大学大学院工学系研究科)  
 谷 時雄 (熊本大学大学院自然科学研究科)  
 泊 幸秀 (東京大学分子細胞生物学研究所)  
 内海 利男 (新潟大学理学部)  
 [プログラム委員] Eric Westhof (IBMC, Strasbourg) (Chair)  
 Melissa Jurica (University of California Santa Cruz)  
 Lynne Maquat (University of Rochester)  
 Jamie Williamson (The Scripps Research Institute, La Jolla)  
 Haru Siomi (Keio University, Tokyo)  
 Yoshi Nakamura (University of Tokyo)

事務局：東京大学医科学研究所遺伝子動態分野 (担当：小鍛冶)  
 日本コンベンションサービス (株) (担当：杳澤、深谷、軸丸)  
 E-mail address : RNA2011@convention.co.jp  
 ホームページ : <http://www2.convention.co.jp/RNA2011> (6月オープン予定)  
 演題締切：2011年3月初旬 (予定)

## 日本RNA学会 会報

第22号 (2010年5月)

発行・製作：日本RNA学会 編集幹事

連絡先：理化学研究所

中村 輝

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2-2-3

電話：078-306-0103

FAX：078-306-3052

E-mail : akiran@cdb.riken.jp